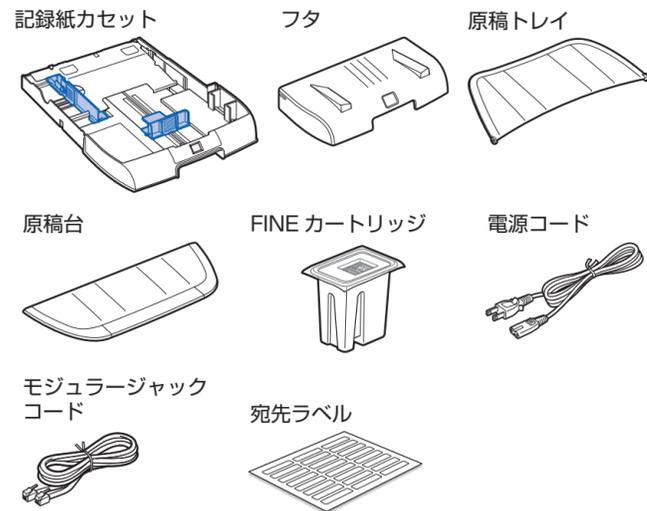


1 本機の設定

1 本体と以下の付属品がそろっているか確認する



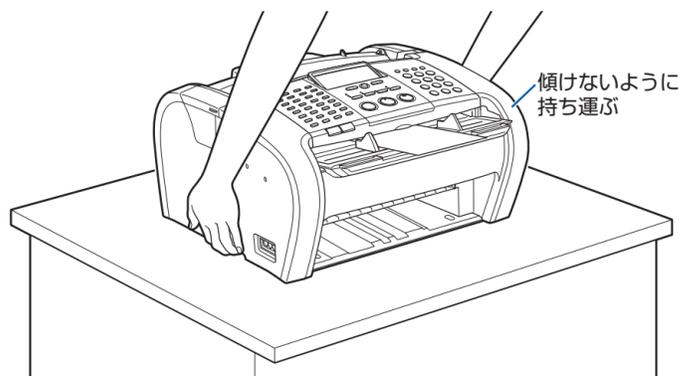
- その他の付属品
- かんたんスタートガイド (本書)
 - ユーザズガイド
 - 保証書
 - 保守契約制度のご案内
 - サービス店シール

本機には以下のオプションが接続できます。くわしくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

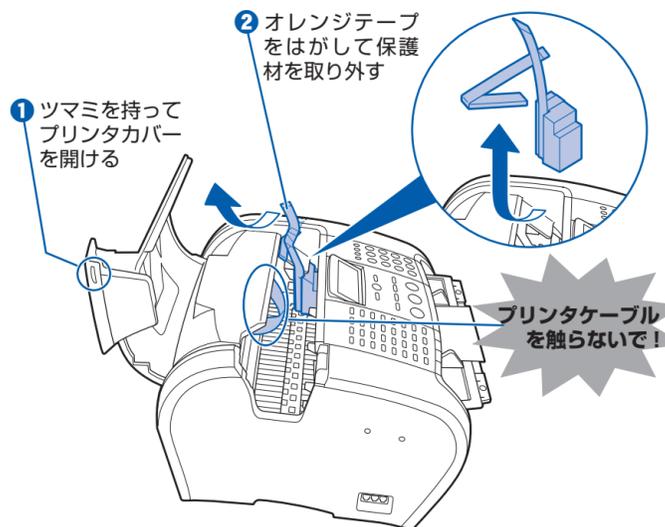
- FXB-カセットフィーダ2
- ハンドセットキットL12

2 本体を広く平らな場所に設置する

外部のテープと保護材は、すべて取り外してください。



3 プリントカバーを開け、内部の保護材を取り外す

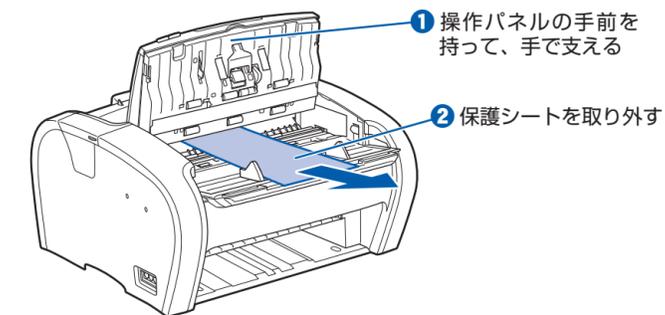


4 ツマミを持ってプリントカバーを閉める

5 操作パネルの手前を持って、上に開く



6 操作パネルを開いたまま、内部の保護シートを取り外す

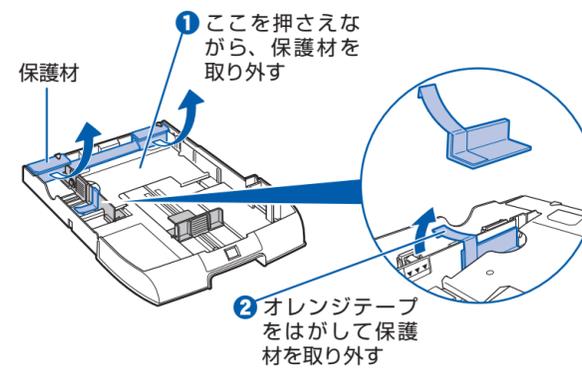


7 操作パネルを閉じる

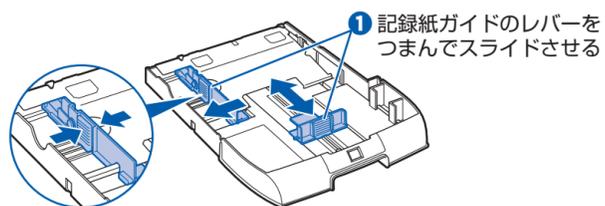
操作パネルの中央部を押し、カシャッという音がするのを確認してください。

2 付属品の取り付け

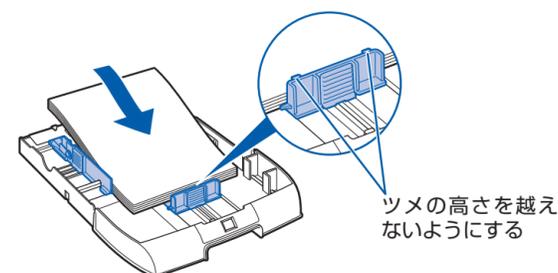
1 記録紙カセットの保護材を取り外す



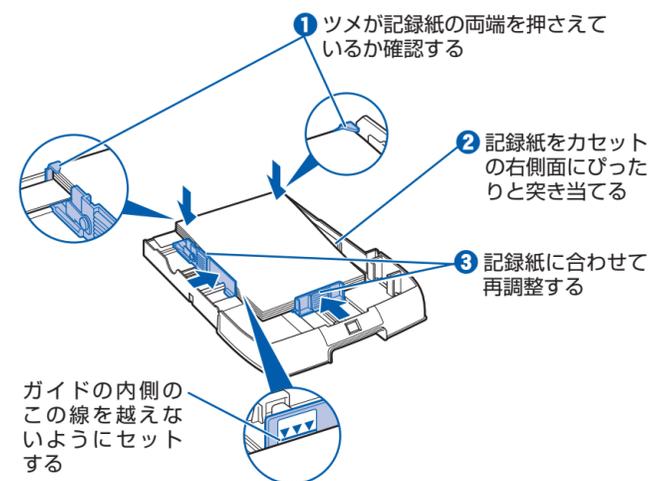
2 記録紙ガイドのレバーをつまんでスライドさせ、記録紙のサイズに合わせる



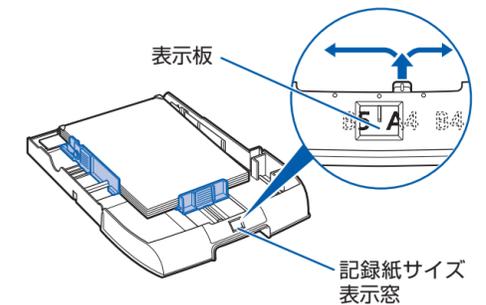
3 記録紙をそろえ、印刷面を下にしてツメの下にセットする



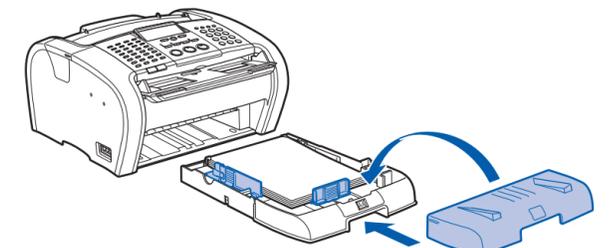
4 セットした記録紙の先端を上から押さえ、記録紙ガイドを記録紙に合わせる



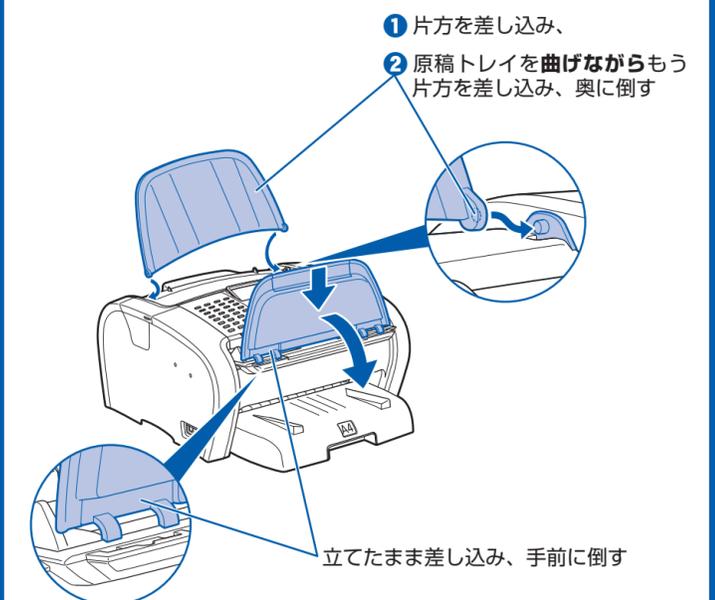
5 表示板のツマミを持って上げながら左右にスライドさせ、セットした記録紙のサイズに合わせる



6 フタを取り付け、記録紙カセットが突き当たるところまで静かに押し込む



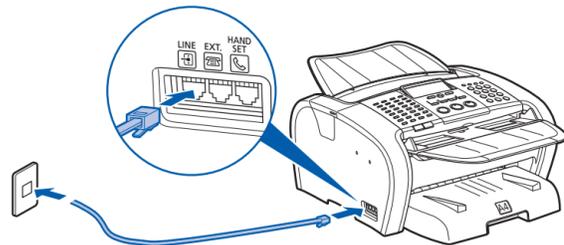
7 原稿トレイと原稿台を取り付ける



3 電話回線の接続と電源の入れかた

1 電話回線を接続する

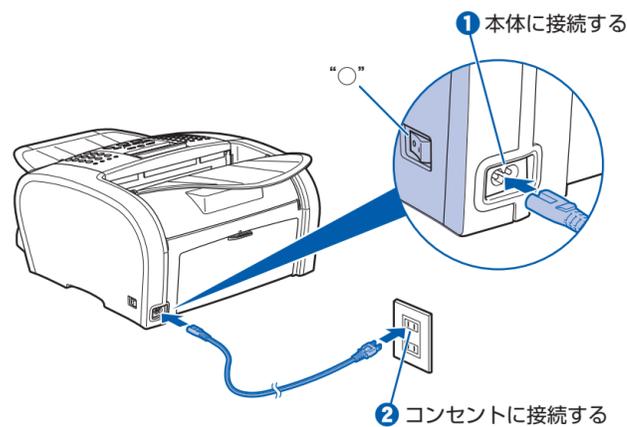
必要に応じて電話機を接続できます。詳しくは「ユーザーズガイド」の第1章の「電話回線の接続と電源の入れかた」の「外付電話機の接続」を参照してください。



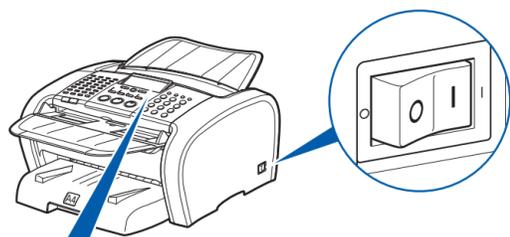
重要

電話回線の接続には、必ず付属のモジュージャックコードを使用してください。

2 電源スイッチが「○」(OFF) になっていることを確認し、電源コードを接続する



3 電源スイッチを「|」(ON) にする



シハ'ラク オマチクタ'サイ

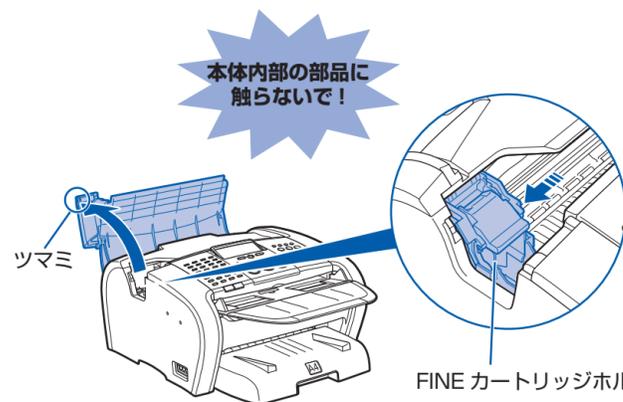
2008 07/01 TUE 09:15

カートリッジ'カ' セットサレテイマセン

「カートリッジが セットサレテイマセン」と表示されたら、次の手順に進んでください。

4 FINE カートリッジの取り付け

1 ツマミを持ってプリンタカバーを開ける

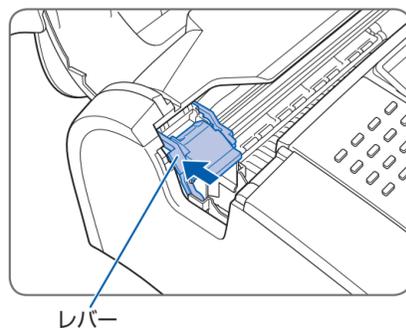


FINE カートリッジホルダが自動的にカートリッジの交換位置に移動します。

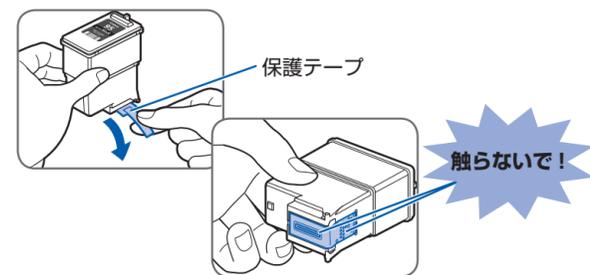
重要

FINE カートリッジホルダが止まるまでお待ちください。

2 レバーの [押す] を押してフタを開ける



3 付属の FINE カートリッジをケースから取り出し、保護テープをゆっくり取り外す



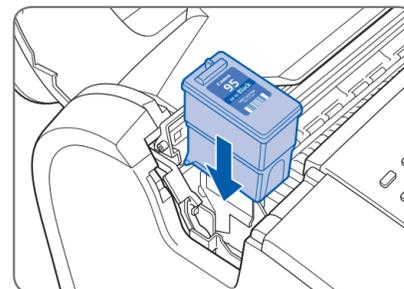
注意

最初に取り付ける FINE カートリッジは必ず付属のものをご使用ください。非純正インクカートリッジまたは非純正インクを使用したことによる不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

重要

- インクが衣服に付着しないよう注意してください。
- FINE カートリッジを落としたり、力を加えたりするなど乱暴に扱うことは避けてください。
- FINE カートリッジホルダが右側へ戻っている場合は、いったんプリンタカバーを閉じ、開け直してください。

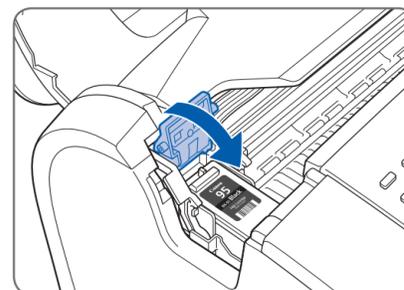
4 FINE カートリッジを差し込む



注意

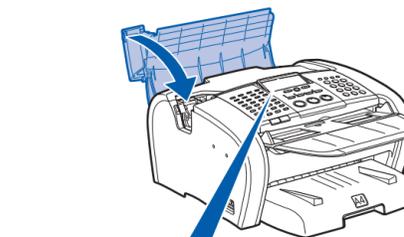
- FINE カートリッジを製品に取り付ける場合には、FINE カートリッジホルダの周囲に FINE カートリッジをぶつけることなく、注意して FINE カートリッジホルダにセットしてください。
- 一度取り付けた FINE カートリッジは、不必要に取り外さないでください。

5 カチッという手応えがあるまでしっかりとフタを閉める



6 ツマミを持ってプリンタカバーを閉める

本機の動作音がしなくなるまで、約 70 秒お待ちください。使用できる状態になると、日付と時刻が表示されます。



動作中

カートリッジ'ライト' ウシマス
シハ'ラク オマチクタ' サイ

動作完了

2008 07/01 TUE 09:15

参考

FINE カートリッジを取り付けたあとは、プリントヘッド位置の調整をお勧めします。詳しくは、「ユーザーズガイド」の第9章の「プリントヘッドのメンテナンス」の「プリントヘッド位置を調整する」を参照してください。

本機をお使いになる前に

ファクスの送信や受信をするには、電話回線の種類と受信モードを本機に設定する必要があります。設定方法について詳しくは、「ユーザーズガイド」を参照してください。

ここでは電話回線の種類と受信モードの概要について説明します。

電話回線の種類

電話回線は、NTT とお客様の契約にもとづいて回線の種類が設定されています。プッシュ回線 (トーン回線) かダイヤル回線 (パルス回線) かを確認し、正しく設定してください。

本機は、あらかじめプッシュ回線に設定されています。117 (時報) や 177 (天気予報) にダイヤルしてつながったときは、そのまま使用してください。

時報や天気予報につながらないときは、「ユーザーズガイド」の第1章の「電話回線の種類を設定する」を参照し、本機の設定を変更してください。

受信モード

受信設定には、なにもしなくても自動的に応答する自動受信、着信時にお客様が FAX と電話を切り替える手動受信などがあります。お使いの電話回線に合わせて、適切な受信モードを選んでください。

- ファクス専用回線があり、ファクス原稿だけを受けたいとき
→ 自動受信

- 一回線の同じ番号で電話とファクスを使いたいとき
自動的に電話とファクスを切り替えたい場合
→ FAX/TEL 切り替え (* お買い上げ時の受信モードです。)

ファクスよりも電話が多く、ファクスは手動で受信したい場合
→ 手動受信

- 一回線のままファクス番号と電話番号を使い分けたいとき
→ モデムダイヤルイン F/T 切り替え
またはダイヤルイン F/T 切り替え
* とともに NTT とのダイヤルインサービス契約 (有料) が必要です。

- 留守中に電話もファクスも受けたいとき
→ 留守番電話接続

詳しくは、「ユーザーズガイド」の第5章の「受信するための基本的な設定」を参照してください。